

日本の象徴「日の丸」を切り刻んで民主党旗を作成!!

今月8日、鹿児島県の民主党候補者が開催した集会で、ステージ上に2つの赤い円を上下に重ね合わせたデザインの民主党の党旗が掲げられていましたが、これは**2枚の国旗「日の丸」を切り刻んで上下につなぎ合わせたもの**であることが判りました。



この集会には、**小沢一郎代表代行**が出席していましたが、この**国旗を損壊し、侮辱する行為に対して、怒りも注意もせず、笑顔で候補者を激励し**、その模様は民主党ホームページにも堂々と掲載されていました。

この問題を麻生総理に指摘された鳩山代表は、一応謝罪をしましたが、「**それ(民主党旗)は国旗ではなくて、われわれの神聖なマークでありますので、マークをきちんとつくらなければいけない話だった**」と答えています。鳩山代表が問題にしているのは、国旗を切り刻んだことではなく、神聖なる民主党旗をきちんとした方法で作らなかったということであり、党旗の方が国旗より大切だと言っているのです。ここに、はっきりと**鳩山代表及び民主党の、国旗を、ひいては、わが国そのものをないがしろにする本心が現れています。**

もし民主党が政権を獲得すれば、鳩山代表は総理大臣として、国際社会とも交渉することになります。しかし、国旗・国歌に敬意を表するのは全世界の常識であり、それが出来ない者は国際社会から信用を得ることはできません。**国旗をないがしろにする民主党の態度は、世界の非常識でもあり、決して許されるものではありません。**

このパンフレットは、政党の自由な政治活動であって、選挙期間中でも自由に配布できます。

「日の丸」のある自民党大会



本当に日本の政党なのか!?
「日の丸」を切り刻んで党旗を作る民主党!!

民主党＝日教組に
日本は任せられない

「日の丸」のない民主党大会



日本を守る、責任力。

自民党
www.jimin.jp

国旗・国歌のない民主党大会

表紙のように、民主党大会では、国旗「日の丸」が掲揚されていません。さらに、国歌「君が代」の斉唱も行われません。また、民主党本部にも国旗は掲揚されていません。

国旗・国歌は、わが国の長い歴史と文化・伝統のなかで生まれ、民族性や価値観、国民の願いなどが込められた、日本の象徴です。

自民党は党大会などの行事の際には、必ず国旗を掲揚し、国歌を斉唱します。また、党本部を始めとして、各地の支部には国旗が掲揚されています。

それは、**国旗・国歌を大切にすることは、わが国を、ひいては、国民を大切にすることと同じ**だからです。

日教組の政策を丸呑みの民主党

なぜ民主党は、党大会で国旗を掲揚せず、国歌を斉唱しないのでしょうか。それは、民主党の支持団体の日教組が「日の丸」・「君が代」に反対しているからです。

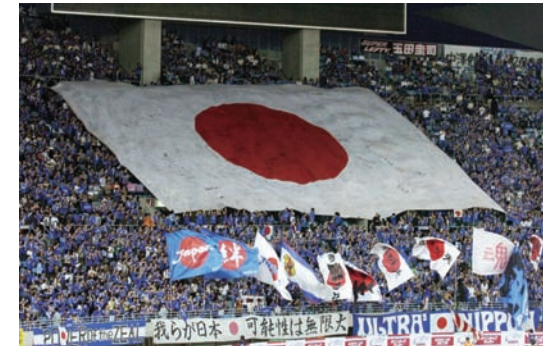
日教組の教育政策は、国家や社会秩序の解体を目的とした、反日的なものです。この日教組の強い影響下にあるため、民主党は国旗を掲揚せず、国歌を斉唱しないのです。つまり、**民主党は日教組の支持を得るために、その反日的な政策を丸呑みしている**のです。

「日の丸」・「君が代」を侵略戦争の象徴に

日教組は、「日の丸」・「君が代」を「侵略戦争の象徴」であるとして、「日の丸の、赤はアジアの民衆の血の色、白は骨の色」と子供たちに復唱させるような教育を行っています。

「日の丸」・「君が代」は、決して「侵略戦争」のために作られたものではありません。

それを、戦時下にも使われていたというだけで、



「日の丸」は、日本の象徴・誇りであり、国民にも愛されています

「侵略戦争の象徴」とする理由は、国の象徴であり、**本来誇るべき「日の丸」・「君が代」を否定することで、子供たちの愛国心を否定し、国や社会への帰属意識を失わせようとしている**からです。

国民としての自覚を否定する日教組

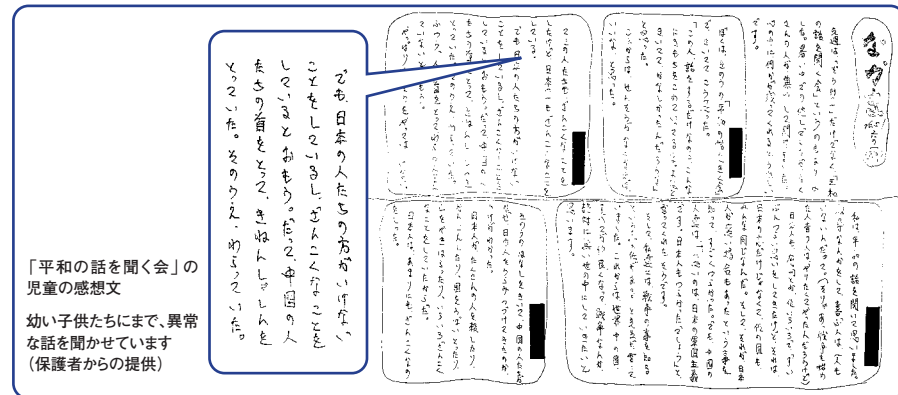
世界中のどこにも、国民としての自覚を、あえて否定するような教育を行っている国はありません。

わが国の象徴である「日の丸」・「君が代」を大切にしない日教組＝民主党に、「国の宝」である子供たちを任せるわけにはいきません。

あまりにひどい自虐史観歴史教育

わが国の歴史教科書の大半は、日教組の影響により自虐史観となっています。特に近現代史では、「朝鮮半島における日本統治」や「日本軍のアジア侵略」について、ことさらに否定的に記述しています。

さらに教科書の上に留まらず、小学校に自称「元日本兵」を呼んで、「妊婦を刺殺して八つ裂き」、「中国人の家族を家ごと丸焼き」という、身の毛もよだつような話を子供たちに聞かせたという例まで報告されています。



子供たちが日本を愛せなくなる

その結果、子供たちは、「日本人は悪者」、「日本人であることが恥ずかしい」など、わが国について否定的な感情を抱くこととなります。幼い子供ほどその影響は大きく、歴史について白紙の状態に植え付けられたマイナスイメージは、拭い去り難いものになります。

「子ども中心主義」が、子供を傷つける

日教組は、道徳教育について、国家権力による価値観の強制だとして反対しています。その反面、「子ども中心主義」などとして、「自分の不利益に対しては黙っていないで要求しよう」などの学級目標を掲げています。これでは、子供たちが、教師を尊敬せずに、席を立てて動き回るなどの問題行動をとるのも当然です。

子供は、大人が持っている忍耐力や判断力に欠けるため、短慮な判断により、自分を傷つけてしまうことがあります。大人として十分な判断力などが身につくまで子供を守るのは、大人の義務であり、子供は庇護されるものとして、大人の指導や命令に従うことになります。この点を忘れて、教育はできません。

「正しい生き方」を示す道徳教育を否定

そして、社会の一員として生きていくために、「何が良いか、悪いか」、「何をするか、してはいけないか」などの判断の基礎となるのが、即ち、「道徳」なのです。

道徳は、わが国の社会に深く根ざした価値観であり、歴史や伝統と分かちがたく結びついています。

道徳は個人と社会をつなぎ、日本人の正しい生き方示すものであるからこそ、日教組は「国家解体」、「社会秩序破壊」のため道徳教育を否定しているのです。

幼少時から過激な性教育を行う



日教組は、「性の自己決定権」というテーゼのもと、コンドームの装着練習や、出産ビデオを見せる、性交や出産を専用の人形(左の写真です)を使って教えるなど、過激な性教育を、幼い子

供のうちから行っています。

その結果、「小学校1年生の子供が妹の下着を脱がせペニスをくっつけているところを母親が引き離す」(福岡市)、「小学校3年生の同級生同士が自宅でセックスしているのを帰宅した母親が発見」(宮崎市)などの痛ましい事件が起きています。

行きすぎた性知識が子供の人格を破壊

男女の間の思いやりや愛情、生まれてくる子供への責任などについて学ばないうちに、いきなり性の自己決定権や性行為について教えられては、子供は理解することができず、自分自身を傷つけてしまいます。

過激な性教育は、日教組の行っている子供の人格破壊が、最もはっきりと表れている分野なのです。

民主党政権で日本の教育は崩壊する

日教組は毎年、政府や自治体に対して『政策制度要求と提言』を行っていますが、そこでは、これまでの異常な教育内容をはじめ、「ジェンダーフリー(性別否定)」、「靖国神社参拝反対」、「自衛隊の縮小・改編」など、あらゆる左翼の主張について、国や自治体に制度化のうえ、実施するよう要求しています。

もし、**民主党が政権を獲得すれば、日教組の要求が全て受け入れられ、異常な教育が制度化されて、全国の学校で子供たちに教えられることになり、日本の教育は崩壊**します。現在、日本の教育は、未曾有の危機に瀕しているのです。

自民党は『教育再生』を実行中

自民党は、子供たちに、「日本の将来は自分たちが担わなければならない」と自覚してもらえるような教育を行いたいと願っています。それには、**子供たちが日本人であることに誇りを持つことが必要**です。

そのため、新しい教育基本法にのっとり、「『ゆとり教育』を見直し、学力の向上をはかる」、「地域社会、家族の絆や伝統・文化を尊び、心を育む教育を実現」、「教科書の大幅な改善と内容の充実」などを引き続き推進し、**必ず『教育再生』をなしとげます**。